

平成26年度ひとにやさしいまちづくり推進指針関連事業の取組状況

資料1

番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	H25年度までの取組状況	平成26年度の取組状況(予定)	県民計画等各種計画における目標値
1 ひとづくり						
(1)意識啓発の促進						
1	ユニバーサルデザイン推進事業	保健福祉部 地域福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合学習におけるユニバーサルデザイン導入促進のための教員研修</li> <li>行政職員研修</li> <li>知事表彰の実施</li> <li>ひとにやさしいまちづくり推進協議会運営</li> <li>ユニバーサルデザインマップ管理運営委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー開催(行政職員、県民等対象、年4回)</li> <li>知事表彰の実施(H21～25年度、4件)</li> <li>ひとにやさしいまちづくり推進協議会運営(年1～2回開催)</li> <li>ユニバーサルデザインマップ管理運営(登録数1,264件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユニバーサルデザインセミナー実施(行政職員、県民等対象、4回)</li> <li>知事表彰の実施</li> <li>ひとにやさしいまちづくり推進協議会運営</li> <li>ユニバーサルデザインマップ管理運営</li> <li>ひとにやさしいまちづくり推進指針改定</li> </ul>	【ひとにやさしいまちづくり推進指針】 ・ひとにやさしいまちづくりの県民認知度 70.0%(H26年度)
2	障がい者駐車場適正利用促進事業(ひとにやさしい駐車場利用証制度)	保健福祉部 地域福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとにやさしい駐車場利用証制度の運営(H22年度～)</li> <li>車いす利用者用駐車施設の利用対象者(高齢者、障がい者など)</li> <li>「ひとにやさしい駐車場利用証」を申請により交付し、県と協定を締結した施設(指定駐車施設)を優先利用できるようにする制度。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用証発行件数(延べ件数)計7,148件(身体5,024、療育240、精神74、介護498、特定796、母子422、けが94)</li> <li>指定駐車施設(区画)協定締結数 875区画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用証の発行</li> <li>指定駐車施設の協定締結促進(H26目標835区画)</li> </ul>	【県民計画・第2期アクションプラン】 ・指定駐車施設協定締結区画数835区画(H26年度)
3	ひとにやさしいまちづくりセミナー事業	沿岸広域振興局 保健福祉環境部 福祉課	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとにやさしいまちづくりセミナーの開催</li> <li>東日本大震災津波に係る復興等において、ひとにやさしいまちづくり(ユニバーサルデザイン・バリアフリー)の考え方に基づいたまちづくりが進められるよう、その手法や考え方、先進事例などに関する理解を図り、すべてのひとが住み慣れた地域で安心して、安全に生き生きと生活できるまちづくりを推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとにやさしいまちづくりセミナーの開催(年1回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとにやさしいまちづくりセミナーの開催(平成27年1月開催予定)</li> </ul>	
4	宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議	沿岸広域振興局 保健福祉環境部 宮古保健福祉環境センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮古地域の公共施設や商店街の点検活動を行い、公共施設の管理者や地域住民に対し、ユニバーサルデザインの普及、啓発を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>推進協議会構成員による、市内施設の実態調査を実施。</li> <li>実態調査結果を基に、観光客を対象としたユニバーサルデザインマップを作成(H25年度)。</li> <li>災害復興公営住宅新築工事に係る意見聴取会への参加。</li> <li>ユニバーサルデザインの優良(またはその逆)の事例の収集。</li> <li>障がい当事者による庁舎に対する指摘、意見の収集及びそれに基づいた、庁舎管理者への改善依頼。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>H25年度版ユニバーサルデザインマップの宿泊施設等への配布</li> <li>H25年度未調査の地域(旧新里、旧川井、旧田老)について、実態調査を行いマップを作成、調査済みの地域について変更があった場合には更新作業を行う</li> <li>ユニバーサルデザイン優良事例等の収集</li> <li>facebookを活用した情報発信</li> <li>障がい当事者による庁舎に対する指摘、意見の収集及びそれに基づいた庁舎管理者への改善依頼</li> <li>建築予定の管内公共施設について、ユニバーサルデザイン化に向けた助言を実施</li> </ul>	
5	ユニバーサルデザイン推進団体(障がい者観光サポーターの会)支援	県北広域振興局 保健福祉環境部	<ul style="list-style-type: none"> <li>(障がい者観光サポーターの会への支援)</li> <li>障がい者観光サポーターが、お互いに情報を共有し活動を作り上げていくことで、久慈地域の住民に対して障がい者への理解を促進する。</li> <li>身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援していくことを通して、ひとにやさしいまちづくりを進める。</li> <li>具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組をしている。</li> </ul> <p>当会に対する県の支援は次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担</li> <li>定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与</li> <li>月一定例会に担当者はオブザーバー参加(情報提供)</li> <li>その他、担当者が一部事業に参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定例会(毎月第1水曜日)実施、プチ研修実施</li> <li>土風館駐車場にて見守り(4～11月毎月1回)実施</li> <li>ふれあい福祉まつりでの障がい体験会実施</li> <li>まちなか散策会(UD点検等)及び他UD団体との交流会</li> <li>キャップハンディ体験インストラクター養成講座参加</li> <li>岩手県防災訓練参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者観光サポーターの会事業</li> <li>定例会(毎月第一水曜日)及び定例会時にプチ研修</li> <li>土風館見守りボランティア(4～11月1回)</li> <li>キャップハンディ体験サポート(8月:中学校1校、9月:小学校3校、11月:小学校1校)</li> <li>一般依頼者に対し観光サポート(5人)</li> <li>有償ボランティア規約明文化検討</li> <li>9/23ふれあい福祉まつり(キャップハンディ体験サポート)参加者:白杖体験49人及び障がい者マークあてクイズ43人</li> <li>10/4ユニバーサルデザイン点検(洋野町)</li> <li>1/11宮古地域ユニバーサルデザイン推進会議と交流会(県の支援)</li> <li>定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担</li> <li>定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与</li> <li>定例会(毎月第一水曜日)及び定例会時にプチ研修参加(5、6、9月)</li> <li>規約に関する助言</li> <li>9/23ふれあい福祉まつり(キャップハンディ体験サポート)参加</li> </ul>	
(2)学ぶ機会の充実						
6	特別支援学校医療的ケア体制整備事業	教育委員会 学校教育室	<ul style="list-style-type: none"> <li>経管栄養等の医療的ケアを必要とする幼児・児童・生徒が在籍する特別支援学校に看護師を配置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師配置校 8校</li> <li>対象児童生徒数 40名</li> <li>任用看護師 39名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護師配置校 7校</li> <li>対象児童生徒数 39名</li> <li>任用看護師 34名</li> </ul>	

番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	H25年度までの取組状況	平成26年度の取組状況(予定)	県民計画等各種計画における目標値
7	特別支援教育か がやきプラン推 進事業	教育委員会 学校教育室	・高等学校に在籍している障がいのある生徒のもとに非常勤職員を配置し、障がい等のある生徒を受け入れる体制を整備し、学校生活への適応を図る。	・県立高校24校に特別支援教育支援員(非常勤職員)26名を配置し、学校生活全般を支援	・県立高校25校に特別支援教育支援員(非常勤)27名を配置し、学校生活全般を支援	アクションプラン政策Ⅴ構成事業 ・配置人数 27名
8	いわて特別支援 教育推進プラン 実践事業	教育委員会 学校教育室	・「いわて特別支援教育推進プラン」に基づき、幼稚園から高等学校までの全ての学校において特別支援教育の役割を果たせるよう充実、強化を図る。	(H25年度実績) ・教員研修受講者割合 幼・小・中学校 83%、高等学校 96% ・特別支援教育ボランティア延べ登録者数 75名 ・「交流籍」活用による交流及び共同学習実施学校数 14校	・教員研修受講者割合 幼・小・中学校 100% 高等学校 100% ・特別支援教育ボランティア延べ登録者数 80名 ・「交流籍」活用による交流及び共同学習実施学校数 14校	【県民計画・第2期アクションプラン】 ・教員研修受講者割合 小・中学校 100%、高等学校100%(H26年度) ・特別支援教育ボランティア延べ登録 者数 80名(H26年度) ・「交流籍」活用による交流及び共同学 習実施学校数 14校(H26年度)
9	特別支援学校 キャリア教育推 進事業	教育委員会 学校教育室	・特別支援学校(高等部)に職業指導支援員を配置し、作業学習等の生徒への支援・教職員の補助、授業の補助具等教材の作成により、職業教育の充実を図る。	・職業指導支援員配置校 5校 ・任用職業指導支援員 6名	職業指導支援員配置校 5校 任用職業指導支援員 6名	
10	ユニバーサルデ ザイン学習支援 事業	県北広域振興局 保健福祉環境部二戸保 健福祉環境センター	・管内の小中学校からの依頼に応じて、総合学習でUDを取り上げる際の支援を行う。(講師の斡旋・派遣、社協・はーとふる発見隊との連絡調整)	・管内小学校7校でUD学習支援を実施(H25年度:7回) (UD学習支援の内容) 手話・点字学習、はーとふる発見隊のお話を聞く会、身近なUD探索(二戸合庁)	・管内小学校からの申込みに基づき、総合学習でUDを取り上げる際の支援を行う。 ①希望調査 ②講師の斡旋・派遣 ③はーとふる発見隊との連絡調整 ・H26年度:5校実施予定 ・実施内容:手話・点字学習、はーとふる発見隊のお話を聞く会、身近なUD探索(二戸合庁)	
11	宮古地域ユニ バーサルデザイ ン推進連絡会議 (再掲)	沿岸広域振興局 保健福祉環境部 宮古保健福祉環境セン ター	・管内の小学校の総合学習等において、ユニバーサルデザインの学習支援を行う。	・推進協議会構成員による、市内施設の実態調査を実施。 ・実態調査結果を基に、観光客を対象としたユニバーサルデザインマップを作成(H25年度)。 ・災害復興公営住宅(宮古市八木沢地区)新築工事に係る意見聴取会への参加。 ・ユニバーサルデザインの優良(またはその逆)の事例の収集。 ・障がい当事者による庁舎に対する指摘、意見の収集及びそれに基づいた、庁舎管理者への改善依頼。	・H25年度版ユニバーサルデザインマップの宿泊施設等への配布 ・H25年度未調査の地域(旧新里、旧川井、旧田老)について、実態調査を行いマップを作成、調査済みの地域について変更があった場合には更新作業を行う ・ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ・facebookを活用した情報発信 ・障がい当事者による庁舎に対する指摘、意見の収集及びそれに基づいた庁舎管理者への改善依頼 ・建築予定の管内公共施設について、ユニバーサルデザイン化に向けた助言を実施	
12	ユニバーサルデ ザイン推進団体 (障がい者観光 サポーターの会) 支援(再掲)	県北広域振興局 保健福祉環境部	(障がい者観光サポーターの会への支援) ・障がい者観光サポーターが、お互いに情報を共有し活動を作り上げていくことで、久慈地域の住民に対して障がい者への理解を促進する。 ・身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援していくことを通して、ひとにやさしいまちづくりを進める。 ・具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組をしている。  当会に対する県の支援は次のとおり。 ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・月一定例会に担当者はオブザーバー参加(情報提供) ・その他、担当者が一部事業に参加	・定例会(毎月第1水曜日)実施、プチ研修実施 ・土風館駐車場にて見守り(4~11月毎月1回)実施 ・ふれあい福祉まつりでの障がい体験会実施 ・まちなか散策会(UD点検等)及び他UD団体との交流会 ・キャップハンディ体験インストラクター養成講座参加 ・岩手県防災訓練参加 等	障がい者観光サポーターの会事業 ・定例会(毎月第一水曜日)及び定例会時にプチ研修 ・土風館見守りボランティア(4~11月1回) ・キャップハンディ体験サポート(8月:中学校1校、9月:小学校3校、11月:小学校1校) ・一般依頼者に対し観光サポート(5人) ・有償ボランティア規約明文化検討 ・9/23ふれあい福祉まつり(キャップハンディ体験サポート)参加者:白杖体験49人及び障がい者マークあてクイズ43人 ・10/4ユニバーサルデザイン点検(洋野町) ・1/11宮古地域ユニバーサルデザイン推進会議と交流会(県の支援) ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・定例会(毎月第一水曜日)及び定例会時にプチ研修参加(5、6、9月) ・規約に関する助言 ・9/23ふれあい福祉まつり(キャップハンディ体験サポート)参加	

番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	H25年度までの取組状況	平成26年度の取組状況(予定)	県民計画等各種計画における目標値
(3)人材・組織の育成						
13	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	保健福祉部 地域福祉課	・県職員、市町村職員を中心に、条例の理念・手続きの周知徹底を図るもの。また、行政職員として理解することが望ましいUDの基礎知識の普及を図る。	・市町村の福祉・建築や地住民を対象として、県内4地区において開催(H25年度:盛岡、奥州、釜石、大船渡、計202名参加)	・ユニバーサルデザインセミナー実施(行政職員、県民等対象、4回)	【復興実施計画(第1期)】 事業実施について記載
14	宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議(再掲)	沿岸広域振興局 保健福祉環境部 宮古保健福祉環境センター	・宮古地域におけるユニバーサルデザインの推進について地域の障がい当事者、社会福祉協議会、建築士会や建設組合等の関係団体が協力し、地域ニーズを取り入れながら進めることを目的とし、宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議を設置。	・推進協議会構成員による、市内施設の実態調査を実施。 ・実態調査結果を基に、観光客を対象としたユニバーサルデザインマップを作成(H25年度)。 ・災害復興公営住宅(宮古市八木沢地区)新築工事に係る意見聴取会への参加。 ・ユニバーサルデザインの優良(またはその逆)の事例の収集。 ・障がい当事者による庁舎に対する指摘、意見の収集及びそれに基づいた、庁舎管理者への改善依頼。	・H25年度版ユニバーサルデザインマップの宿泊施設等への配布 ・H25年度未調査の地域(旧新里、旧川井、旧田老)について、実態調査を行いマップを作成、調査済みの地域について変更があった場合には更新作業を行う ・ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ・facebookを活用した情報発信 ・障がい当事者による庁舎に対する指摘、意見の収集及びそれに基づいた庁舎管理者への改善依頼 ・建築予定の管内公共施設について、ユニバーサルデザイン化に向けた助言を実施	
15	ユニバーサルデザイン推進団体(障がい者観光サポーターの会)支援(再掲)	県北広域振興局 保健福祉環境部	(障がい者観光サポーターの会への支援) ・障がい者観光サポーターが、お互いに情報を共有し活動を作り上げていくことで、久慈地域の住民に対して障がい者への理解を促進する。 ・身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援していくことを通して、ひとにやさしいまちづくりを進める。 ・具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組をしている。  当会に対する県の支援は次のとおり。 ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・月一定例会に担当者はオブザーバー参加(情報提供) ・その他、担当者が一部事業に参加	・定例会(毎月第1水曜日)実施、プチ研修実施 ・土風館駐車場にて見守り(4~11月毎月1回)実施 ・ふれあい福祉まつりでの障がい体験会実施 ・まちなか散策会(UD点検等)及び他UD団体との交流会 ・キャップハンディ体験インストラクター養成講座参加 ・岩手県防災訓練参加 等	障がい者観光サポーターの会事業 ・定例会(毎月第一水曜日)及び定例会時にプチ研修 ・土風館見守りボランティア(4~11月1回) ・キャップハンディ体験サポート(8月:中学校1校、9月:小学校3校、11月:小学校1校) ・一般依頼者に対し観光サポート(5人) ・有償ボランティア規約明文化検討 ・9/23ふれあい福祉まつり(キャップハンディ体験サポート)参加者:白杖体験49人及び障がい者マークあてクイズ43人 ・10/4ユニバーサルデザイン点検(洋野町) ・1/11宮古地域ユニバーサルデザイン推進会議と交流会(県の支援) ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・定例会(毎月第一水曜日)及び定例会時にプチ研修参加(5、6、9月) ・規約に関する助言 ・9/23ふれあい福祉まつり(キャップハンディ体験サポート)参加	
2 まちづくり						
(1)まちづくり全体(総合的まちづくりの推進)						
16	ひとにやさしいまちづくり条例に基づく県が新築または新設する特定公共的施設に係る意見聴取	保健福祉部 地域福祉課	・県が新設する特定公共的施設のうち、次に該当するものについて障がいのある方、高齢者の方、子育て中の方などから意見を聴取する機会を設けるもの。 1 床面積合計が2千㎡以上の建築物 2 区域面積5千㎡以上の公園・遊園地・動物園・植物園など	・二戸警察署(H22年度) ・やさわの園(H24年度) ・災害復興公営住宅(H24~25年度)5市町(陸前高田市、大槌町、大船渡市、釜石市、宮古市)	・障がい当事者による庁舎に対する指摘、意見の収集及びそれに基づいた庁舎管理者への改善依頼(意見聴取会) ・災害復興公営住宅(山田町、4月実施済み) ・療育センター(予定)	
17	岩手中部ユニバーサルデザイン推進ネットワーク会議	県南広域振興局 保健福祉環境部 花巻保健福祉環境センター	・東日本大震災の被災地の復興に関してUDの視点を取り入れた提言を行う。 ・UDと防災についてハードとソフトの両面から検討を行い、災害に強いまちづくりのあり方を追求する。 ・岩手中部地区は全国障害者スポーツ大会の会場であり、岩手中部地区を訪れる大会参加者等をおもてなしする観点から、ハードとソフトの両面のユニバーサルデザインについて検討を行う。	・東日本大震災津波の被災地の復興に関して、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた提言について、「岩手中部ユニバーサルデザイン推進ネットワーク会議」において協議し取りまとめを行い、岩手県に対し提言書の提出を行った。(H23年度) ・UDと防災について検討を行った。(H24年度) ・全国障害者スポーツ大会について検討を行っている。(H25年度~)	・建築予定の管内公共施設について、ユニバーサルデザイン化に向けた助言を実施	

番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	H25年度までの取組状況	平成26年度の取組状況(予定)	県民計画等各種計画における目標値
18	けせん地域ひとにやさしいまちづくり推進事業	沿岸広域振興局 保健福祉環境部 大船渡保健福祉環境センター	・東日本大震災津波により、震災以前まであったユニバーサルデザイン施設、特にトイレの設置状況が大きく変わってしまったため、現在のユニバーサルデザインのトイレの設置状況を改めて取りまとめ、障がい者だけではなく気仙地方への来訪者へも対象としたトイレマップを作成し、管内外への同マップの配付、ホームページでの広報により、誰もが必要なときに必要なトイレ情報を入手できるようにする。	(H26年度の取組予定) ・トイレマップ基礎データ収集、取りまとめ ・けせんトイレマップ検討会議 ・マップ印刷 ・マップお披露目会、マップの配付	・トイレマップ基礎データ収集、取りまとめ ・けせんトイレマップ検討会議 ・マップ印刷 ・マップお披露目会、マップの配付	
(2) 公共的施設・建築物						
19	特定公共的施設新築等の事前協議	県土整備部 建築住宅課	・ひとにやさしいまちづくり条例に基づく特定公共的施設の新築等の際の事前協議に係る事務処理を行う(經由事務等一部は市町村に事務委託) ・協議書審査における助言・指導等により整備基準の適合率向上を促し、特定公共的施設のユニバーサルデザイン化を推進 (・市町村への委託事業: 經由事務・協議書審査、調査、検査事務)	(H25年度実績) ・協議件数 208件 (・市町村処理件数 經由事務189件、審査事務94件、検査事務57件、調査事務0件、計340件)	・事前協議を通じ、特定公共的施設のユニバーサルデザイン化を促進	
20	岩手中部ユニバーサルデザイン推進ネットワーク会議	県南広域振興局 保健福祉環境部 花巻保健福祉環境センター	・大規模な公共施設の建設に当たり、ユニバーサルデザインの視点から提言や施設内点検活動を行う。	・花巻市総合体育館増築工事に関して、工事中に施設の点検・確認を行い、花巻市に対し要望事項(改善事項)の提言を行った。(H23年度) ・「やさわの園」の改築工事に関して、意見聴取会において提言を行った。(H24年度)	・年内に岩手中部ユニバーサルデザイン推進ネットワーク会議を開催	
21	釜石・大槌地域ひとにやさしいまちづくり推進委員会	沿岸広域振興局 保健福祉環境部 福祉課	・大規模な公共施設の建設に当たり、ユニバーサルデザインの視点から提言や施設内点検活動を行う。	・災害復興公営住宅新築工事に係る意見聴取会への参加。		
22	宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議(再掲)	沿岸広域振興局 保健福祉環境部 宮古保健福祉環境センター	・宮古地域の公共的施設や商店街の点検活動を行い、公共的施設の管理者や地域住民に対し、ユニバーサルデザインの普及、啓発を図る。 ・また、東日本大震災津波からの復興に向けたまちづくりにおいて、ユニバーサルデザインを推進するために、点検結果を基に公共施設等管理者に助言を行う。	・推進協議会構成員による、市内施設の実態調査を実施。 ・実態調査結果を基に、観光客を対象としたユニバーサルデザインマップを作成(H25年度)。 ・災害復興公営住宅(宮古市八木沢地区)新築工事に係る意見聴取会への参加。 ・ユニバーサルデザインの優良(またはその逆)の事例の収集。 ・障がい当事者による庁舎に対する指摘、意見の収集及びそれに基づいた、庁舎管理者への改善依頼。	・H25年度版ユニバーサルデザインマップの宿泊施設等への配布 ・H25年度未調査の地域(旧新里、旧川井、旧田老)について、実態調査を行いマップを作成、調査済みの地域について変更があった場合には更新作業を行う ・ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ・facebookを活用した情報発信 ・障がい当事者による庁舎に対する指摘、意見の収集及びそれに基づいた庁舎管理者への改善依頼 ・建築予定の管内公共施設について、ユニバーサルデザイン化に向けた助言を実施	
(3) 交通機関等						
23	バス運行対策費	政策地域部 地域振興室	・路線バス事業者が、主として国庫補助を受けている不採算路線を運行するために用いるバス車両を購入する場合に要する経費に対して補助するもの。	(H25年度実績) ・岩手県交通㈱ ワンステップバス(スロープ付き)6台購入 総事業費:36,980千円 県補助額:14,724千円 ・岩手県北自動車㈱ ワンステップバス(スロープ付き)2台、ノンステップバス(スロープ付き)8台購入 総事業費:46,402千円 県補助額:23,200千円	● 岩手県交通㈱ ワンステップバス(スロープ付き)10台購入予定 総事業費(予定):31,720千円 県補助額(予定):15,859千円 ● 岩手県北自動車㈱ ワンステップバス(スロープ付き)6台購入予定 総事業費(予定):45,737千円 県補助額(予定):22,867千円	【県民計画・第2期アクションプラン】 ・乗合バスにおける低床バスの導入率35.5%(H26年度)
24	公共交通バリアフリー化設備等整備費補助	政策地域部 地域振興室	・鉄道事業者が鉄道駅のバリアフリー化を行う際の経費に対して、関係市町村が補助する場合の経費の一部を補助するもの。	(H25年度実績) ・一関市 JR一関駅在来線ホームへのエレベーター(1基)設置、連絡通路改良(誘導警告ブロック設置等) 総事業費:123,638千円 県補助額:20,166千円 ・平泉町 JR平泉駅ホームへのエレベーター(2基)設置、連絡通路、誘導警告ブロック 総事業費:178,114千円 県補助額:26,900千円	-	

番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	H25年度までの取組状況	平成26年度の取組状況(予定)	県民計画等各種計画における目標値
<b>(4)道路</b>						
25	緊急地方道路整備事業(街路) 地方特定道路整備事業(街路)	県土整備部 都市計画課	・都市における安全かつ快適な交通を確保するとともに、都市の骨格をなす施設として、健全な市街地の形成、活力と魅力ある快適な都市形成に寄与し、併せて防災上の役割を果たす等都市の基盤となる街路を都市計画に基づき整備するもの。	(H25年度実績) ・街路整備(7カ所) 盛岡駅本宮線、上堂鶉飼線、山目駅前釣山線、向中野安倍館線、盛岡駅長田町線、犬袋新町線、荒瀬上田面線	県内7箇所の街路整備を推進する。 盛岡駅本宮線、上堂鶉飼線、山目駅前釣山線、向中野安倍館線、盛岡駅長田町線、犬袋新町線、荒瀬上田面線	【県民計画・第2期アクションプラン】 ・平成26年度までに県内の主要交差点における混雑多発箇所解消・緩和率50%
26	交通安全施設等整備事業	県土整備部 道路環境課	・最も基本的な移動手段である歩行のための空間を安全で快適なものとするため、交通安全施設の整備を行うもの。 ○歩道の設置・拡幅・平坦化・段差解消、視覚障がい者誘導ブロックの設置、○無電柱化	(H25年度実績) ・歩道整備 歩道整備49箇所。うち完了7箇所。(奥州市稲瀬、奥州市北前沢、紫波町彦部、八幡平市平館、奥州市姉帯、普代村明神、久慈市小久慈町) (通学路歩道整備率:74.6%) ・無電柱化整備 平泉停車場中尊寺線の無電柱化整備を継続。 (無電柱化整備延長:25.4km)	1)歩道整備 ・歩道整備49箇所。うち完了3箇所(北上市堅川目、九戸村山根、一戸町軽井沢) 2)無電柱化整備 ・平泉停車場中尊寺線の無電柱化整備を継続。	【県民計画・第2期アクションプラン】 ・県管理道路の通学路の歩道整備率75.6%(H26年度) ・県管理道路の無電柱化整備延長27.9km(H26年度)
<b>(5)住宅</b>						
27	住宅相談コーナーの開設	県土整備部 建築住宅課	・県民の各種住宅相談(バリアフリー改修等を含む)に対応する窓口を設置するとともに、各種資料の提供を行うことにより住宅のユニバーサルデザイン化の普及を促進する。	(H25年度実績) ・住宅相談コーナーにて定期住宅相談会(月2回) ・いわて住まい情報発信局によるホームページ運営及びメールマガジン発行(週1回)	・住宅相談コーナーにて定期住宅相談会(月2回) ・いわて住まい情報発信局によるホームページ運営及びメールマガジン発行(週1回)	【県民計画・第2期アクションプラン】 ・住宅リフォームの相談・情報提供(H26まで継続)
28	住みたい岩手の家づくり促進事業	県土整備部 建築住宅課	・省エネ性にすぐれ県内各地域の気候や風土といった地域性に配慮した住宅建設に取り組もうとする工務店を広く県民にPRし、顧客の獲得を支援することにより、誰もが住みやすい良質な住宅(岩手型住宅)の普及を図る。 ・H22年度からは、住宅着工の大幅な落ち込みを踏まえ経済の活性化を目的に県産材を利用した岩手型住宅の新築、増築に対し助成を行っている。	(補助実績H22~25) ・新築 171戸 ・増改築 1戸	・新築 60戸 ・割増 20戸	【県民計画・第2期アクションプラン】 ・新築住宅に対する認定長期優良住宅の割合 13.0%(H26年度)
29	公営住宅建設事業(県営住宅の建設改修)	県土整備部 建築住宅課	・健康で文化的な生活を営むに足る住宅を建設し、又は既存ストックを改善して、これを住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、国民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする。 ・建設・改善に際しては、ユニバーサルデザイン化を行い、共同住宅におけるユニバーサルデザイン化のモデルとして民間への普及を図る。	(H25年度実績) ・備後第1アパート建替工事 ・松園アパート、大堤アパート住戸改善工事 他 (・高齢化仕様率 35.1%)	・備後第1アパート建替工事(8号棟設計) ・松園アパート、天下田アパート住戸改善工事 他	【県民計画・第2期アクションプラン】 ・県営住宅の長寿命化改善及び建替個数(累計)368戸(H26年度) 【ひとにやさしいまちづくり推進指針】(H26年度) ・公営住宅における高齢化仕様率35.0%
30	高齢者及び障がい者にやさしい住まいづくり推進事業費補助	保健福祉部 長寿社会課	・要援護高齢者及び重度身体障がい者の在宅での自立した生活を支援するとともに、その介護者の負担の軽減を図るため、市町村が在宅の要援護高齢者及び重度身体障がい者の世帯の住宅改修に必要な経費に対し助成する場合に、その事業費の一部に対して補助金を交付する。	(H25年度実績) ・補助対象件数 238件 ・実施市町村数 30市町村 ・県補助金額 43,091,000円 ・主な改修内容 トイレ改修、浴室改修	・31市町村からの337件、58,050千円の要望に対し、予算内に調整のうえ配分(11月頃所要確認のうえ、配分の最終調整)	
<b>(6)観光地</b>						
31	国際観光推進事業費	商工労働観光部 観光課	・効果的な情報発信を行い、知名度向上を図るとともに、外国人観光客の受入態勢の整備を行うもの。	・受入態勢整備施設数 13施設(累計)	受入態勢施設数:15(累計)	【県民計画・第2期アクションプラン】 ・受入態勢整備施設数 15施設(H26年度) ※H22年10施設から年1施設増加させH26年までに15施設とする。
32	みちのく岩手観光案内板整備事業(外国人観光客の受入態勢強化)	商工労働観光部 観光課	・本県を訪れる外国人観光客の大半を占めるアジア圏からの観光客のため、現状の日本語・英語の表記に中国語(簡体字・繁体字)、韓国語の表記を加えるもの。	(東日本大震災津波により整備を中断)	—	【復興実施計画】 年10基を整備し、平成30年度で完了の予定。

番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	H25年度までの取組状況	平成26年度の取組状況(予定)	県民計画等各種計画における目標値
33	平泉ユニバーサルデザイン観光推進事業	県南広域振興局 保健福祉環境部	・誰もが安全に安心して平泉観光を楽しめるよう、障がい者や高齢者を対象としたモニターツアー、介護ボランティア養成研修及びユニバーサルデザイン化を推進するためのシンポジウムなどを行い、障がい者や高齢者など配慮が必要な旅行者の受入体制を整備する。(平成26年度から実施)	—	(1) 平泉ユニバーサルデザイン観光推進会議(3回) ・第1回 5/14 第2回 9/11 第3回 2月 (2) モニターツアーの実施(2回) ※毛越寺コース ・第1回 6/19 モニター13名、関係者22名 ・第2回 8/27 モニター6名、関係者18名 (3) 観光ガイド兼介助ボランティア養成研修(3回) ・第1回 7/13(観光ガイド研修:14名) ・第2回 7/28(車イス介助研修:10名) ・第3回 8/27(観光ガイド及び車イス介助実技研修兼第2回モニターツアー:24名) (4) 平泉UD観光推進シンポジウムの開催(1回) ・日時 9/11 ・場所 ホテル武蔵坊 ・参加者 60名 (5) UDマップ作成 ・県大ソフトウェア学部の協力を得て、デジタル化し、平泉観光協会のHPにアップ予定 ・H26は平泉駅・毛越寺周辺を作成 (6) ボランティア募集(人材バンク) ・H27の事業計画案(第2回推進会議で協議)を踏まえて、適時に募集	
34	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	保健福祉部 地域福祉課	・いわてユニバーサルデザイン電子マップ管理運営 県内の公共的施設のバリアフリー設備の配置状況を、各拠点ごとに照会の上データベース化し、GIS地図情報システムと組み合わせてwebページとして公開するもの。	・ユニバーサルデザインマップ登録数 1,264件	・被災状況をマップに反映させるとともに、車いす利用者用駐車施設やオストメイトトイレの有無など、新規情報を追加し、掲載施設数を増やすほか、登録内容の維持管理を行う	
35	宮古地域ユニバーサルデザイン推進連絡会議(再掲)	沿岸広域振興局 保健福祉環境部 宮古保健福祉環境センター	・東日本大震災津波からの復興に向けたまちづくりにおいて、障がいの有無に関わらず、多くの方が宮古地域の観光支援に来ていただけるよう、再建計画のある宿泊施設に対し、ユニバーサルデザイン化に向けた助言を行う。	・推進協議会構成員による、市内施設の実態調査を実施。 ・実態調査結果を基に、観光客を対象としたユニバーサルデザインマップを作成(H25年度)。 ・災害復興公営住宅(宮古市八木沢地区)新築工事に係る意見聴取会への参加。 ・ユニバーサルデザインの優良(またはその逆)の事例の収集。 ・障がい当事者による庁舎に対する指摘、意見の収集及びそれに基づいた、庁舎管理者への改善依頼。	・H25年度版ユニバーサルデザインマップの宿泊施設等への配布 ・H25年度未調査の地域(旧新里、旧川井、旧田老)について、実態調査を行いマップを作成、調査済みの地域について変更があった場合には更新作業を行う ・ユニバーサルデザイン優良事例等の収集 ・facebookを活用した情報発信 ・障がい当事者による庁舎に対する指摘、意見の収集及びそれに基づいた庁舎管理者への改善依頼 ・建築予定の管内公共施設について、ユニバーサルデザイン化に向けた助言を実施	
36	ユニバーサルデザイン推進団体(障がい者観光サポーターの会)支援(再掲)	県北広域振興局 保健福祉環境部	(障がい者観光サポーターの会への支援) ・障がい者観光サポーターが、お互いに情報を共有し活動を作り上げていくことで、久慈地域の住民に対して障がい者への理解を促進する。 ・身体が不自由な人でも観光を楽しめるよう支援していくことを通して、ひとにやさしいまちづくりを進める。 ・具体的には、「既存の施設でいかに人に支援できるか」を重視する取組をしている。  当会に対する県の支援は次のとおり。 ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・月一定例会に担当者はオブザーバー参加(情報提供) ・その他、担当者が一部事業に参加	・定例会(毎月第1水曜日)実施、プチ研修実施 ・土風館駐車場にて見守り(4~11月毎月1回)実施 ・ふれあい福祉まつりでの障がい体験会実施 ・まちなか散策会(UD点検等)及び他UD団体との交流会 ・キャップハンディ体験インストラクター養成講座参加 ・岩手県防災訓練参加  等	障がい者観光サポーターの会事業 ・定例会(毎月第一水曜日)及び定例会時にプチ研修 ・土風館見守りボランティア(4~11月1回) ・キャップハンディ体験サポート(8月:中学校1校、9月:小学校3校、11月:小学校1校) ・一般依頼者に対し観光サポート(5人) ・有償ボランティア規約明文化検討 ・9/23ふれあい福祉まつり(キャップハンディ体験サポート)参加者:白杖体験49人及び障がい者マークあてクイズ43人 ・10/4ユニバーサルデザイン点検(洋野町) ・1/11宮古地域ユニバーサルデザイン推進会議と交流会(県の支援) ・定例会等資料印刷費、資料郵送費の負担 ・定例会、総会及び交流会開催時の会議室貸与 ・定例会(毎月第一水曜日)及び定例会時にプチ研修参加(5、6、9月) ・規約に関する助言 ・9/23ふれあい福祉まつり(キャップハンディ体験サポート)参加	

番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	H25年度までの取組状況	平成26年度の取組状況(予定)	県民計画等各種計画における目標値
(7)公園・水辺空間等						
37	広域公園整備事業	県土整備部 都市計画課	・地方生活圏等広域的なブロック内のレクリエーション需要への対応、自然的・歴史的環境や、住民の生活環境の保全機能、防災機能の確保等を目的として、都市計画法に基づき都市計画決定された公園を整備する。 ・整備に当たっては、移動等円滑化の促進に関する法律において園路及び広場、駐車場、便所について達成目標を定めて事業を実施している。	(H25年度実績) ・御所湖広域公園の整備促進 ・矢櫃地区整備 ・園内の標識整備	・御所湖広域公園の整備促進 ・矢櫃地区整備	
(8)商店街						
38	地域貢献活動計画公表制度	商工労働観光部 経営支援課	・床面積6,000㎡超の特定大規模集客施設の設置者から地域貢献活動計画書及び実施状況報告書の提出を受け、これを広く公表することにより、設置者の地域貢献への取組を地域住民に周知し、設置者の積極的な取組を支援する制度 ※地域貢献活動の一つとして、「ひとにやさしいまちづくりへの協力」が位置付けられている。	(H25年度実績) ・30施設から地域貢献活動計画書の提出があり、県ホームページで公表。	・特定大規模集客施設の設置者から地域貢献活動計画書及び実施状況報告書が提出された都度、当課ホームページで公表する。	
3 ものづくり						
(1)製品開発・(2)製品利用						
39	地方独立行政法人岩手県工業技術センター運営費交付金(ユニバーサルデザイン製品にかかる開発支援)	商工労働観光部 商工企画室	・ユニバーサルデザイン製品にかかる研究開発	・福祉食器シリーズ「てまる」の商品知名度向上及び新規顧客開拓、販路拡大を支援。 ⇒グッドデザイン賞の受賞、被災地支援関連イベントへの出品・PR等 ・高齢者向けスープ製品開発の実施。 ⇒さんりく基金(研究開発事業助成金)による企業との共同研究 ・コンブウッドシステムによる曲げ木技術を活用し、様々な形状の木製品(広葉樹曲げ木弁当箱など)の開発研究を実施。 ・低侵襲性や操作性に配慮した医療用鋼製小物(はさみやピンセットなど)の開発研究を実施。	・圧縮処理木材による曲げ木技術を活用した沿岸地域木製品製造業のための製品開発に関する調査研究 ・高度な医療用鋼製小物開発及びその製品化支援に関する研究	【ひとにやさしいまちづくり推進指針】 優良事例の表彰件数10件(H26年度)
40	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	保健福祉部 地域福祉課	・知事表彰の実施 施設の整備、製品の開発、普及啓発等によりひとにやさしいまちづくりの推進に顕著な功績があったものを表彰する。	・知事表彰(製品開発)1件(H22年度「てまる」プロジェクト)	・様々な分野でひとにやさしいまちづくり・UD推進に寄与した個人や団体を表彰する	【ひとにやさしいまちづくり推進指針】 優良事例の表彰件数10件(H26年度)
4 情報・サービス						
(1)情報						
41	地域支え合いマップづくり支援事業	保健福祉部 地域福祉課	・要援護者に対する平常時の見守り活動や災害時の避難支援を円滑に進めるため、マップづくりのノウハウを有する講師を地域に派遣し、要援護者の情報や地域の社会資源などの情報を盛り込んだ、地域支え合いマップづくりの取組を促進する。	(H25年度実績) ・地域福祉活動コーディネーター育成事業に統合し研修を実施 地域の福祉ニーズ把握の手法(住民支え合いマップ)に関する講義、実地研修 ※養成研修を受講した者・CSW養成研修修了者及び生活支援相談員を対象に「支え合いマップ・インストラクター養成講座」を開催。(修了者数19名)	・支え合いマップ・インストラクター養成講座開催5回開催(4回開催済み) (CSW養成研修修了者及び生活支援相談委対象) ・支え合いマップ・インストラクター継続研修会開催1回開催予定 (H25支え合いマップ・インストラクター養成講座修了者対象)	【県民計画・第2期アクションプラン】 ・福祉マップづくり策定市町村数 33市町村(H26年度)
42	災害時要援護者支援担当者研修	保健福祉部 地域福祉課	・市町村社協職員も含めた災害時要援護者対策担当者に対し、災害時要援護者の個別支援計画作成等の研修を実施し、市町村の要援護者対策推進をする。	(H25年度実績) ・災害時要援護者避難支援対策研修会開催(市町村職員等対象、262名参加)	・災害時要援護者避難支援対策研修会開催(市町村職員等対象)10回開催予定 内容:行政説明、事例紹介、講演	

番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	H25年度までの取組状況	平成26年度の取組状況(予定)	県民計画等各種計画における目標値
43	視聴覚障がい者等コミュニケーション支援事業	保健福祉部 障がい保健福祉課	・手話通訳者等の通訳者・ボランティアの養成・指導を行い、登録された通訳者・ボランティアを派遣することにより、視聴覚障がい者等の社会生活上のコミュニケーションを支援するとともに、視聴覚障がい者等の社会参加を促進する。	(H25年度実績) ・点訳奉仕員の養成・研修延べ232名参加。 ・音訳奉仕員・デジタル録音図書編集奉仕員の養成・研修延べ470名参加。 ・手話通訳者養成講習会修了者7名。手話通訳者現任者研修延べ130名参加。手話通訳者登録試験合格者2名。 ・手話通訳者の派遣28名。 ・要約筆記者養成講座修了者10名。要約筆記者補修講習会修了者23名。 ・要約筆記者の派遣51名。 ・盲ろう者通訳・ガイドヘルパー養成講習会修了者16名。 ・盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの派遣128件。 ・身体障がい者パソコンサポーター養成研修10回開催。パソコンサポート件数158件。 ・点字新聞(JBニュース)の提供年間50回。	・点訳奉仕員の養成・研修 ・音訳・デジタル録音図書編集者の養成・研修 ・手話通訳者・要約筆記者の養成・研修及び派遣 ・盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの養成・研修及び派遣 ・身体障がい者パソコンサポーターの養成・研修及び派遣 ・点字新聞(JBニュース)の提供	【ひとにやさしいまちづくり推進指針】 (H26年度) ・手話通訳者 57人 ・要約筆記者 145人 ・点訳奉仕員 154人 ・音訳奉仕員 125人
44	県内広報事業費(いわてグラフィック作成)	秘書広報室 広聴広報課	・「復興計画」や「いわて県民計画」に基づく県政運営方針や各種施策等を効果的に広報し、県民との相互理解・信頼関係を築くとともに、県政への積極的な参画と協働の更なる促進に資する。	・年5回(6月、8月、10月、12月、3月)発行	・年5回発行予定。 ・6月、8月、10月発行済み ・12月、3月発行予定	
45	子育て応援大作戦事業	保健福祉部 子ども子育て支援課	主に子育て中の親を対象とした子育て応援ホームページや子育てマンガ情報誌の発行、県民を対象とした子育て応援テレビ番組の放映などにより、地域全体で子育てを支援していく気運を醸成する。(各種媒体製作は平成23年度で終了。)	(H23年度までの実績) ・子育て応援情報誌の作成、配布(20,000部) ・子育て応援ポータルサイトの開設(パソコン版、モバイル版) ※事業終了後もホームページ等既存媒体を活用した子育て支援情報の発信は継続	・ホームページ等既存媒体を活用した子育て支援情報の発信を継続(事業は終了)	【県民計画・第2期アクションプラン】 ・子育て応援ポータルサイト「いわて子育てiらんど」(累計)(ページビュー件数)200,000件(H26年度)
46	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	保健福祉部 地域福祉課	・いわてユニバーサルデザイン電子マップ管理運営 県内の公共的施設のバリアフリー設備の配置状況を、各拠点ごとに照会の上データベース化し、GIS地図情報システムと組み合わせてwebページとして公開するもの。	・ユニバーサルデザインマップ登録数 1,264件	・被災状況をマップに反映させるとともに、車いす利用者用駐車施設やオストメイトトイレの有無など、新規情報を追加し、掲載施設数を増やすほか、登録内容の維持管理を行う	
47	岩手中部ユニバーサルデザイン推進ネットワーク会議(再掲)	県南広域振興局 保健福祉環境部 花巻保健福祉環境センター	・全国障害者スポーツ大会で本県を訪問する障がい者等への情報発信を充実させるため、「いわてユニバーサルデザイン電子マップ」について検討を行う。	・岩手中部ユニバーサルデザイン推進会議(H25.10.30開催)で検討。	・年内に岩手中部ユニバーサルデザイン推進ネットワーク会議を開催	
(2)情報化対応						
48	県内広報事業費(ホームページ改修)	秘書広報室 広聴広報課	震災等の大規模災害が発生した際も止まることなく情報伝達が可能なホームページにリニューアルを行う。なお、リニューアルにあたっては、ウェブアクセシビリティJIS(JIS-X8341-3:2010)に配慮し、高齢者や障がい者等、誰でも不便なく利用できるホームページとするもの。	(H25年度実績) ・遠隔地に待機サーバを用意し、大規模災害発生時においても、継続的に情報発信を行えるシステムを構築した。 ・約15,000ページをJISに沿って修正しつつ移行した。 ・計14回開催した新CMS(コンテンツマネジメントシステム)職員研修において、ウェブアクセシビリティへの配慮について周知した。	・JISに対応したホームページ品質を維持するために、ページ作成にあたっての注意点を職員向けに文書で通知する。 ・ページを作成する職員に対する指導(不備を発見の都度、指摘、修正依頼等)を行う。	【復興実施計画】 ・H25年度までにシステムリニューアル 【ICT活用推進プラン】 ・H26年度までに改正JIS達成等級「A」の達成と品質の維持
(3)サービス						
49	ユニバーサルデザイン推進事業(再掲)	保健福祉部 地域福祉課	・行政職員研修の実施 ひとにやさしいまちづくり条例の理念・手続や施行細則に定める公共的施設整備基準の周知徹底を主たる目的とするもの。	・市町村の福祉・建築や地住民を対象として、県内4地区において開催(盛岡、奥州、釜石、大船渡、計202名参加)	・市町村の福祉・建築や地住民を対象として、県内4地区において開催	
5 社会参加						
50	子育て応援推進事業費(iファミリーサービス事業)	保健福祉部 子ども子育て支援課	・事業に協賛する店舗、企業の協力により、買い物や遊びに出かける妊婦や子どもの連れの家庭に割引や特典などのサービスを提供するもの。	・協賛店登録の募集活動 (H26.3.31現在 協賛店登録数 1,242店) ・登録証及びステッカー等の交付	・協賛店登録の募集活動 ・登録証及びステッカー等の交付	【県民計画・第2期アクションプラン】 「いわて子育て応援の店」協賛店舗数(累計)1,400店舗(H26年度)



番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	H25年度までの取組状況	平成26年度の取組状況(予定)	県民計画等各種計画における目標値
51	認知症対策等総合支援事業	保健福祉部 長寿社会課	・認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して、認知症の予防段階からの相談窓口の設置、さらには、認知症の早期の段階から適切な診断と対応、認知症に対する正しい知識と理解に基づく本人や家族への支援など、地域単位での総合的かつ継続的な支援体制を確立することを目的とする。 1 認知症介護実践者等養成事業 2 認知症地域医療支援事業 3 認知症疾患医療センター運営事業 4 認知症を学び地域のみなんで支える事業	(H25年度実績) 1 認知症介護実践者等養成研修修了者数 ・実践者研修 292名 ・リーダー研修 43名 ・サービス事業管理者研修 122名 ・計画作成担当者研修 43名 ・サービス事業開設者研修 28名 ・フォローアップ研修 2名 2 認知症地域医療支援事業 ・認知症サポート医養成研修修了者 9名(合計47名) ・かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者数 105名(合計689名) 3 認知症疾患医療センター運営事業 ・相談 763件、外来 1,332件、入院 20件 4 認知症を学び地域のみなんで支える事業 ・認知症に関する講演、家族会支援、リーダー養成研修の実施 5 認知症施策推進会議 推進会議 2回、市町村連絡会 1回開催 6 認知症サポーター養成数 総計83,964名 7 孫世代のための認知症講座 ・小学校22校、中学校8校 8 いわて認知症のひとと家族の電話相談 ・相談件数 267件 9 地域交流会 開催回数 96回	1 認知症介護実践者等養成事業 ・認知症介護実践者研修等の開催(11月まで) 2 認知症地域医療支援事業 ・認知症サポート医養成研修 3名受講予定 ・かかりつけ医等認知症対応力向上研修 5郡市医師会開催予定 ・医療従事者向け認知症対応力向上研修 年2回開催予定 3 認知症疾患医療センター運営事業 ・H26地域型センターの指定に向け関係団体と調整中 4 認知症を学び地域のみなんで支える事業 ・4圏域(胆江・釜石・宮古・久慈)で実施予定 5 認知症施策推進会議、市町村連絡会 ・推進会議:第1回=9/18開催、第2回=H27年2月開催予定、 ・市町村連絡会:7/17開催 6 認知症サポーター養成講座開催 ・キャラバン・メイト養成講座 3回開催予定 7 孫世代のための認知症講座開催 ・小学校20校、中学校4校開催予定 8 いわて認知症のひとと家族の電話相談室 ・通年実施 9 地域交流会開催 ・県内13か所で開催中	【いわていきいきプラン2014】 ・認知症サポーター養成者数(累計): 78,000人(H26年度) ・かかりつけ医認知症対応力向上研修修了者(累計):820人(H26年度)
52	都道府県地域生活支援事業(岩手県身体障害者補助犬給付事業)	保健福祉部 障がい保健福祉課	・重度の視覚障害者、肢体不自由者、聴覚障害者に対して、身体障害者補助犬法第2条に定める身体障害者補助犬を給付し、もって身体障害者の行動範囲を拡大するとともに社会参加と自立更生を促進し、身体障害者の福祉の増進を図る。	(H25年度実績) ・補助犬育成数 2頭	・育成数2頭	【障がい者プラン】 ・補助犬育成数 2頭/年度(H26年度)
53	多文化共生いわてづくり事業	環境生活部 若者女性協働推進室	・県内に在住する外国人(以下「在住外国人」という。)が暮らしやすい環境の整備を進めるため、在住外国人の日本語学習を支援する日本語サポーターの養成や資質・能力向上のための研修会の開催及び日本語教室等の巡回支援、在住外国人への生活面の支援を行う多言語サポーターの研修会等の事業を実施する。 ・また、地域の国際交流、多文化共生を推進する人材の育成及び資質の向上を図るため、市町村国際交流協会及び市町村職員を対象とした研修会の開催や、県民の国際理解に向けた事業を実施する。	(H25年度実績) ・日本語サポーター養成研修の開催(延べ134名参加) ・多言語サポーター養成研修の開催(延べ172名参加) ・地域巡回相談の実施(14回実施、相談件数57件) ・地域国際化リーダー育成研修の開催(H26.2.16開催、24団体60名参加) ・外国文化紹介講師派遣の実施(計43回実施) ・多言語サポーター登録者 215人	・日本語サポーター養成研修の開催 ・多言語サポーター養成研修の開催 ・地域巡回相談の実施 ・地域国際化リーダー育成研修の開催 ・外国文化紹介講師派遣の実施	【県民計画・第2期アクションプラン】 ・多文化共生サポーター登録者数 400人(H26年度)
54	視聴覚障がい者等コミュニケーション支援事業(再掲)	保健福祉部 障がい保健福祉課	・手話通訳者等の通訳者・ボランティアの養成・指導を行い、登録された通訳者・ボランティアを派遣することにより、視聴覚障がい者等の社会生活上のコミュニケーションを支援するとともに、視聴覚障がい者等の社会参加を促進する。	(H25年度実績) ・点訳奉仕員の養成・研修延べ232名参加。 ・音訳奉仕員・デジタル録音図書編集奉仕員の養成・研修延べ470名参加。 ・手話通訳者養成講習会修了者7名。手話通訳者現任者研修延べ130名参加。手話通訳者登録試験合格者2名。 ・手話通訳者の派遣28名。 ・要約筆記者養成講座修了者10名。要約筆記者補修講習会修了者23名。 ・要約筆記者の派遣51名。 ・盲ろう者通訳・ガイドヘルパー養成講習会修了者16名。 ・盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの派遣128件。 ・身体障がい者パソコンサポーター養成研修10回開催。パソコンサポート件数158件。 ・点字新聞(JBニュース)の提供年間50回。	・点訳奉仕員の養成・研修 ・音訳・デジタル録音図書編集者の養成・研修 ・手話通訳者・要約筆記者の養成・研修及び派遣 ・盲ろう者通訳・ガイドヘルパーの養成・研修及び派遣 ・身体障がい者パソコンサポーターの養成・研修及び派遣 ・点字新聞(JBニュース)の提供	【ひとにやさしいまちづくり推進指針】(H26年度) ・手話通訳者 57人 ・要約筆記者 145人 ・点訳奉仕員 154人 ・音訳奉仕員 125人

番号	関連事業名称	担当室課等	事業概要	H25年度までの取組状況	平成26年度取組状況(予定)	県民計画等各種計画における目標値
(参考)						
55	国体・全国障害者スポーツ大会に係る取組	国体・障がい者スポーツ大会局	国体・障がい者スポーツ大会に係るひとにやさしいまちづくりの取組	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・競技会場となる施設のバリアフリー改修(大会用の仮設設備等設置)を進めるための基本設計</li> <li>・大会参加者が宿泊する施設等に対してバリアフリー化について理解を求めるとともに、必要に応じてシャワーチェア等の宿泊支援用具の配置などを進めるためのバリアフリー調査</li> <li>・関係団体の協力を得て、手話や手書き要約筆記、パソコン要約筆記を行う「情報支援ボランティア」を養成</li> <li>・福祉系学部等を有する大学・専修学校等の協力を得て、選手団とともに行動し、介助、誘導、交流等を行う「選手団サポートボランティア」を養成</li> </ul>	